

横川西小学校地域協議会

土曜授業を利用した「子ども会議」の開催

- 地域協議会から事前に与えられたテーマに沿って、6年生が日頃の授業の中で、クラスごとに、調べたことを基にオープンスクールに訪れた保護者や地域の方へ、前半はクラスで小グループごと、後半は学年全体で集まり、各クラスの代表グループが発表を行う子ども会議が開催されました。
- 開催にあたっては、自治会回覧を活用して地域へ告知し、多くの参加者を集めました。

「地域の豊かさ 人と人とのつながり」
—帰宅後や休日の過ごし方・遊びから—

- ①遊びでつながる 6年2組
- ②安心でつながる 6年3組
- ③もっとつながるために 6年1組

- スマホ・ゲームの使用状況や地域内の危険な場所の認知度、地域の行事への参加状況など、事前に与えられたテーマに沿ったアンケートを6年生自ら作成・集計し、考えたことや調べたことを模造紙にまとめ、発表することで、主体的に学習する体験だけでなく、身近な自分達の地域のことをより深く知ることができました。
- 各クラスごとに、地域協議会の委員がアドバイザーとして、子ども達の発表を見守り、発表についての助言を行うなど、地域の教育力を生かし、子ども達の学習を手助けする活動となっていました。



クラスごとの発表



学年全体での発表



地域協議会会長の講評

【学校の声】

子ども達は、「地域は大人が作るもの」と考えていると思います。

しかし、この子ども会議で自分達の地域を知り、改善するために自分達に出来ることを考えることをとおして、「自分達が地域を作っていく主体である」ということに気付いてもらえたら嬉しいです。

【地域協議会の声】

子ども会議をとおして、学校・家庭・地域が連携して子ども達を育てる必要があるということ、保護者にも伝えたいです。

子ども達自身が調べ、発表することによって、子ども達自身の理解も進み、放課後や休日の過ごし方などに生きてくるとなっています。子ども達の発表の様子がとても立派だったことが嬉しい驚きでした。

【いいね!】

- 子ども達自らが地域のことを調べ、発表することをとおして、主体的に学習する力を育むとともに、地域に対する愛着や責任を意識することを促すことができている。
- 子ども会議で調べるテーマを地域協議会が主体的に学校と相談しながら考え、当日は、アドバイザーも務めるなど、地域の教育力を生かした学校教育の充実が図られていた。

